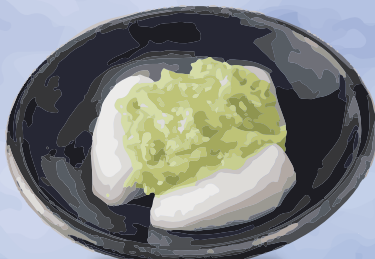


# 株主通信



笹かまぼこ



ずんだ餅



仙台牛タン




金のいぶき



伊達政宗像





木徳神糧は、コメビジネスを通して国内のみならず、世界中の消費者にコメ・コメ関連食品の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

## 企業価値

木徳神糧グループは、次のことに価値をおきます。

- 常にお客さまのニーズに応えます。
- お客さま、お取引先、株主、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を大切にします。
- 社業の発展を通じて社会に貢献します。

## 企業理念

- 誠意と感謝の気持ちを持つ企業であり続けます。
- より高いクオリティを追求する企業であり続けます。
- 新しい価値を創造する企業であり続けます。

### 米穀事業

家庭用・業務用の精米の製造販売、玄米の販売を行い日本の主食であるコメの安定供給に全力を注いでいます。

### 食品事業

製菓及び加工食品用米粉、たんぱく質調整米や米糠を原料とする米油など、コメ加工食品の製造・販売を行っています。

### 飼料事業

国内配合飼料メーカー等への糟糠類、輸入牧草などの飼料及び飼料原料の販売を行い、畜産業の発展に貢献します。

### 鶏卵事業

鶏卵、鶏卵加工品を販売。鮮度管理に万全を期し、農場とパック卵工場を直結させた物流体制をとっています。

Strong Point

## 飼料事業編

### 効率的な体制で飼料を安定供給

牛・豚・鶏・魚などの畜産業の基盤づくりにとっては飼料の安定供給が不可欠です。自社精米工場で発生する米糠を脱脂糠として国内飼料メーカーに販売しているほか、アメリカの優良農場と契約し、安価で良質な輸入飼料の供給ルートを確立しています。

### 循環型社会の形成を推進

日本の飼料自給率の向上が重要な課題となっているなかで、当社は食品の製造や流通の際に生じる食品副産物や養鶏場の鶏ふんを飼料・肥料の原材料に用いる研究を進めています。

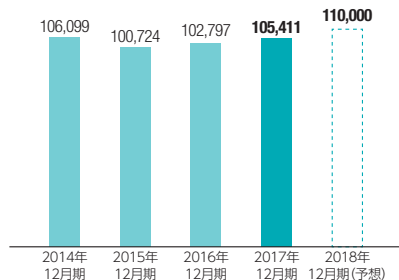
環境に配慮し、循環型社会の形成を目指すと同時に飼料の安定供給・コスト低減に取り組んでいます。



## 連結財務ハイライト

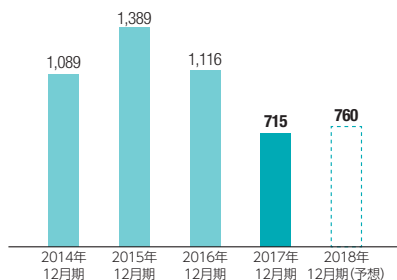
## 売上高

(単位:百万円)

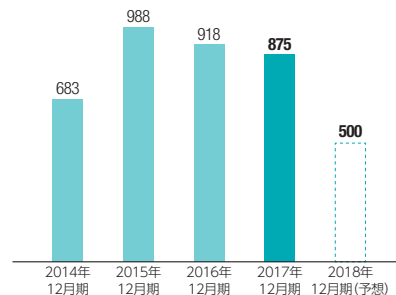


## 経常利益

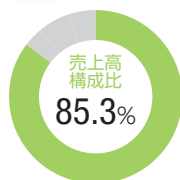
(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



## 米穀事業



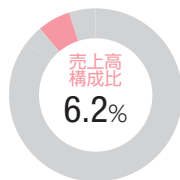
売上高 **89,865**百万円  
(前年同期比5.1%増)

営業利益 **1,248**百万円  
(前年同期比21.5%減)

- 外国産米の売上は減少したものの、国産米の販売単価の上昇や精米販売数量の拡大に注力し増収
- 安定価格を重視する業務用向け等の調達に難航し、採算の悪化が続いたため減益



## 飼料事業



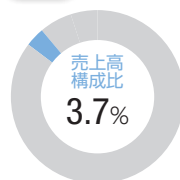
売上高 **6,505**百万円  
(前年同期比4.8%増)

営業利益 **359**百万円  
(前年同期比11.1%増)

- 飼料原料相場が変動しているなか、販売数量の増加に注力し増収
- 採算の向上に努め増益



## 食品事業



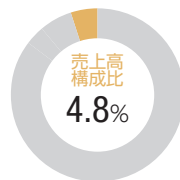
売上高 **3,901**百万円  
(前年同期比37.1%減)

営業損失 **86**百万円  
(前年同期は38百万円の営業損失)

- 前連結会計年度に食品に属する連結子会社を譲渡した影響により大幅に減収
- 穀粉販売の採算悪化、台湾に建設したたんぱく質調整米の製造工場の稼働が計画より大幅に遅れて費用が高んだこと等から、営業損失が拡大



## 鶏卵事業



売上高 **5,139**百万円  
(前年同期比5.1%増)

営業利益 **4**百万円  
(前年同期比28.6%減)

- 業務用向け鶏卵及び鶏卵加工品の販売が増加したことから増収
- 量販店におけるパック卵の販売が減少したことに伴い採算が悪化し減益

## 「変化へ迅速対応」「存在意義の発揮」の 2つのキーワードのもと、 新たな時代のビジネスモデルを 構築していきます。

代表取締役社長

平山 惇



**Q** 2017年12月期の業績についてお聞かせください。

**A** 米価上昇による仕入コストの増加や需給のミスマッチの発生などにより採算が悪化し、減益となりました。

主力の米穀事業において、平成28年産米および平成29年産米の国内需給が引き締まり、国内産米の販売単価が上昇したなか、卸業者間等の玄米販売数量が減少しましたが、中食・外食向けの精米販売の拡販に努めたこと等により、連結売上高は、前年同期比2.5%増となる1,054億11百万円となりました。

利益面では、飼料事業は引き続き堅調に推移したものの、米穀事業において国産米の仕入価格が予想以上に大幅に上昇したこと、低価格米の調達が難航し、外食等向けを中心に採算悪化が継続したこと、また食品事業や鶏卵事業の採算が悪化したこと等から、営業利益は前年同期比38.8%減の6億49百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失1

億14百万円を計上しましたが、上半期に実施した遊休固定資産の売却等による特別利益5億24百万円の計上があり、前年同期比4.6%減の8億75百万円となりました。

**Q** 国内米穀事業を取り巻く環境と取り組みをお聞かせください。

**A** 農政と関連制度の変革が進むなか、当社だからこそ果たせる役割をしっかりと見据え、業界貢献に努めます。

国内の米穀市場では、作付面積と収穫量が減少する一方、飼料用米や高価格帯のブランド米への生産シフトによって、値頃感のある価格帯の主食用米の生産が減り、需要が拡大している中食・外食を中心にニーズの高い業務用米が逼迫し、調達が難航する状況が続いています。こうした需給のミスマッチが発生するなか、原料を確保し、取引先への安定供給とコストダウンを実現するとともに、産地・生産者との密な情報共有により、生産者・実需者・消費者のニーズに応えられ



る仕入体制を構築していくことが、米卸の存在意義であり、当社の使命でもあると考えています。その取り組みの1つとして、平成30年以降に向けて、全国の適地にて美味しい多収穫品種の契約栽培・作付け推進に着手しています。

また、一昨年前から進めてきた全農改革に沿って協議を重ね、2017年10月末に全農との間で、水田営農の持続的発展と国産米の需要拡大・輸出強化、ごはん食を通じた食生活の維持・向上を実現するため業務提携を行いました。今後はこの業務提携を活かし、互いの経営資源を有効活用してビジネスに結びつけ、事業の発展・企業価値の向上に資する体制の構築を目指します。実需者への精米販売に連携して取り組むとともに、生産者に近づく体制づくりとして、消費者・実需者ニーズに応える作付けを協力推進し、さらなる商品の差別化を図りながら、生産者と消費者を結ぶ懸け橋の役割を一層強化していきます。また、全農グループが全国に有する精米工場を利用しながら、各工場の稼働率を上げ、より機能的に業界発展に貢献しながら、生産体制の再構築にもつなげていきたいと考えます。現在、具体的な取り組みについて検討を行っているところです。

そのほか、生産体制の強化では、上半期に小容量商品の生産ラインを導入し、長い期間鮮度を保持できる長鮮度米の製造を開始した桶川精米工場、食品安全マネジメントシステムに関する国際規格FSSC22000の認証を取得しました。他工場にも展開し、品質管理、工場運営のさらなるレベルアップを進めていきます。また、リニューアルを検討していた本牧精米工場については、

様々な選択肢を視野に入れて検討を進めた結果、東京オリンピックに向けて建築費が高騰している現在の状況での建設は見送り、工場内部の部分的なリニューアルを実施しながら、2020年以降に規模を抑えた効率の良い工場に建て替える方針に変更しました。大規模な精米工場を新たに建設することは次世代への負の遺産になりかねません。それよりも必要な能力分の自社工場と、委託先を含む各地の既存精米工場を有効活用するほうが費用対効果は高いという考えです。

**Q コメビジネスのグローバル展開の進捗状況はいかがでしょうか。**

**A 日本米の輸出拡大をはじめ、世界各国の美味しいコメを世界の消費者にお届けしていきます。**

国産米輸出の拡大と市場の開拓を通じて、世界中の消費者に日本米・日本食の素晴らしさを発信する取り組みに力を入れています。シンガポールや香港、マレーシアなどの東南アジアを中心に、国産米輸出量は徐々に拡大していますが、今後はさらに、タイ、ヨーロッパの国々への販売強化、中国での市場開拓を通じて、取扱量を拡大させていくことを目指します。農林水産省が推進する「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト構想」にも参画し、取り組みを加速させていきたい考えです。

また、海外米穀事業の中心を担うベトナムでは、現在、北部において高品質ブランドジャポニカ米（ハノイ産コシヒカリ）の栽培に力を入

れています。一昨年75トンだった取扱精米量は、目標には届かなかったものの440トンと拡大し、今年度は2,000トンを超えると見込んでいます。管理体制をさらに強化し、戦略的パートナーシップのもと、ビジネスを拡大させていく考えです。また南部では、当社の取り扱うジャポニカ米に比べると味は落ちるものの、作りやすく収穫量が多い短粒種のお米が作付けの競合として台頭したことで、計画に対して取扱量未達という結果となりました。新しい年度は、当社も取扱を開始し、これまで量的拡大と品質向上に向け、投資を実施してきた籾乾燥設備やガラス選別機、低温倉庫等の自社設備をフル活用し、他社では難しい生籾での集荷・乾燥・籾摺り・精米・選別・パッキングまで一貫して高品質で行うことで差別化を図り、取扱量の拡大を図っていきたいと考えています。

また、台湾で進めている低たんぱく米の「真粒米」は、量産化の過程で見えてきた課題を新商品の開発に繋げ、年内黒字化を目指します。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 全農との業務提携の効果を最大限に引き出し、将来の市場創出につなげていきます。

市場環境が大きく変化している今、常に体制を見直し、ビジネスの仕組みを模索しながら、変化に迅速に対応する力が求められています。従来国内米穀卸売業の延長ビジネスのみならず、常に新たな視点を持ち、消費者・実需者のニーズに応えるだけでなく、マーケットの創出につながる動きを加速させなければなりません。今回の全農との業務提携はメリットを引き出し合い、互いに積極的に活用し合うことが重要です。当社が有する多様な販売チャネル、輸出を含めた積極的な海外展開力を最大限に活かし、その存在意義を発揮することで、日本の農業の持続的な発展の実現への貢献を通じて、当社の企業価値向上につなげてまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き末永くご支援のほどお願い申し上げます。

## Close Up

## 桶川精米工場でFSSC22000認証を取得

当社は、世界各国の消費者に安全・安心でおいしいおコメを提供するため、安全な食品の提供に関するリスクの軽減と管理体制の構築に取り組んでおり、このたび桶川精米工場がFSSC22000の認証を取得しました。今後も、より一層の食品安全・衛生管理のレベル向上と、消費者の皆様へ安全・安心な商品を提供する管理体制の強化に全社的に取り組んでまいります。

## FSSC22000とは？

衛生面を含めた食品安全管理を実践するためのマネジメントシステム規格ISO22000をベースとして追加要求事項で補強した、食品安全システムの国際規格。日本国内においても認証取得の動きが加速しています。

当社グループが注力する海外展開の一部をご紹介します。

海外 ➡ 日本

良いおコメ・飼料を多くの人々に



タイ産「香り米」を  
日本へ輸入



海外からミニマム・  
アクセス米を輸入



高品質な飼料を  
海外から輸入

日本 ➡ 海外

日本のおコメと技術を世界へ



ベトナムでは、日本の技術と  
設備で高品質なおコメを生産



日本産米の現地での  
プロモーションに注力



## 執行役員紹介

イシモリ ヨシヒロ  
**石森 好宏**

営業本部 米穀事業営業部門  
仕入業務部長 兼 事業戦略部長

執行役員(2016年4月1日就任)



フライフィッシングが  
趣味です!

### ● 仕入業務部長として

仕入業務部の主な機能は、簡単に言えば必要なお米を調達することです。

我々米穀卸に求められるのは、必要なときに、求められる品質で、必要なところへ、必要な量のお米を供給することですが、日本ではお米は年に一度しか収穫できませんし、天候に左右されます。

また、当社のお客様は、バランスの取れた一定品質のお米を大量に必要とする食品工場や全国チェーンの飲食店もあれば、様々な種類のお米を求めるスーパーマーケットや百貨店もあり、それぞれのお客様ごとに異なるニーズがあります。そのニーズに合わせたお米を調達するだけではなく、産地側にお客様のニーズを伝え、安心してお米を作り続けていただくということが大きな役割だと思っています。

何度も調整を繰り返して販売していきますので、仕入れには産地とお客様と私たち三者間の信頼に基づく協力関係が不可欠なのです。今後は産地との連携を更に強化し、消費者との架け橋になる仕入れを目指して取り組んでいきます。

### ● 事業戦略部長として

事業戦略部は昨年の3月に米穀部内に新たに発足した部署で、ニーズに対応した商品開発に加え、新規事業の構築を担う部署です。国内の米消費は残念ながら減退していますが、時代に合った商品や販売方法を考えることに加え、アイデアを形にして新たなニーズを喚起することで、販売拡大に繋がります。

我々の置かれている業界は節目の時期にあり、各エリアの産地からの情報に今まで以上に敏感でなければいけないと考えています。変化を恐れることなく、コストダウンを図りながらも、新たな挑戦を行っていかねば進歩はありません。様々なことに取り組んでいますが、着実に形にしていけるよう頑張ります。



# 会社概要・株式情報 (2017年12月31日現在)

## ● 会社概要

商 号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22

本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8  
木徳神糧小川町ビル  
TEL : 03-3233-5121(代表)  
FAX : 03-3233-5131

資本金 5億2,950万円

従業員数 265名(臨時雇用者を除く)

ホームページ <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

## ● 株式情報

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 8,530,000株
- (3) 株主総数 1,746名
- (4) 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村 良	359千株	4.50%
木村 謙三	335	4.20
濱田精麦株式会社	302	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.76
大和産業株式会社	250	3.13
株式会社神明	247	3.10
水野 正夫	228	2.86
株式会社三井住友銀行	186	2.33
農林中央金庫	186	2.33
木徳神糧従業員持株会	172	2.16

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(565,462株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

## ● 役員 (2018年3月29日現在)

### 取締役

取締役会長 木村 良

代表取締役社長 平山 惇

取締役専務執行役員 三澤 正博

取締役常務執行役員 鎌田 慶彦

取締役常務執行役員 稲垣 英樹

取締役常務執行役員 石田 俊幸

取締役執行役員 竹内 伸夫

取締役執行役員 岩苔 永人

取締役(社外) 秋岡 栄子

### 執行役員

執行役員 大橋 正博

執行役員 家辺 義之

執行役員 石森 好宏

執行役員 管 益成

執行役員 山田 智基

執行役員 金子 泰彦

### 監査役

監査役(常勤) 伊豫田直記

監査役(社外) 杉野 翔子

監査役(社外) 福田 真也

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

公告方法 電子公告(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

## 株主様インフォメーション

## 株主優待

1,000株以上ご所有の株主の皆様は株主優待品を贈呈いたしております。

## 6月末現在の株主様

1,000株以上2,000株未満 ▶ 2,000円相当の米穀製品

2,000株以上 ▶ 4,000円相当の米穀製品等※

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

## 12月末現在の株主様

1,000株以上 ▶ 3,000円相当の米穀製品

## 配当金

当社は、株主様に対する利益還元を重視する一方、安定的な経営基盤確保のため、内部留保のより一層の充実を目指し、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。

## ■ 1株当たり配当金の推移

単位：円

■ 中間 ■ 期末



## 株主アンケートにご協力下さい

株主の皆様のお声から今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施しております。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函下さい。何卒ご協力をお願い申し上げます。

## ポイント1

年2回の贈呈

12月末現在の株主の皆様

▶ 3月頃発送

6月末現在の株主の皆様

▶ 9月頃発送

## ポイント2

当社米穀製品をお届けします。



※ 優待内容や商品デザインは、変更する場合があります。

## ■ 2018年12月期の配当予想

2018年7月1日付けで普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、2018年12月期(予想)の1株当たり期末配当金は25円となります。

	1株当たり配当金	
	中間	期末
2018年12月期 配当予想	5円 (株式併合前の予想)	25円 (株式併合後の予想)

5株 → 1株に併合





## もちもちぷちぷちとした食感の玄米ご飯

### 金のいぶきプラス(250g)

「金のいぶきプラス」は従来の玄米のボソボソ感を解決し、さらに押麦、挽き割り大豆、黒米をミックスして飽きのこないおいしさを実現した玄米ご飯です。250gの使いいきりサイズで手軽にお試しいただけます。

炊くと綺麗な紫色なので食卓が華やかになりますし、ぷちぷちとした食感で自然と噛む回数が増え、少量でも満足感があります。こってりした肉料理やカレーとも合いますが、野菜やスープなどのあっさりとしたおかずと一緒に食べるのもおすすめです。

少量パックで使いやすいので、ぜひ色々な料理との組み合わせを試してみてください。



米穀事業営業部門 **中野 伸哉**  
(2015年入社)

## 日本の特産品

(表紙から)



日本有数の米どころとして知られる宮城県。当社では玄米の新品種「金のいぶき」を新発売！そんな宮城県の名所と特産品をご紹介します。

### 1 伊達政宗像

独眼竜として奥州で数々の功績をおさめた伊達政宗の騎馬像は、青葉城の名で知られる仙台城の本丸跡にあります。高台にあり、仙台市内を見渡せる展望スポットともなっています。

### 3 仙台牛タン

仙台の牛タンは厳選した柔らかい部位だけを使用し、分厚くカットされているのが特徴的。数日かけて「仕込み」と言われる熟成作業を行うことで、味わい豊かな牛タンが生まれます。

### 5 笹かまぼこ

明治35年頃、ひらめの大漁が続き、その利用と保存のためにすり身にして手のひらでたたいて焼いたのがルーツと言われています。伊達家の「竹に雀」の家紋に描かれている笹にちなんで、その名がつけられました。

### 2 金のいぶき

通常のお米の3倍の大きさの胚芽を持つ玄米食専用品種です。吸水性の高い品種で、従来の玄米よりも手間なく炊けます。これから玄米食を始めようと思っている方でも手軽においしく召し上がれる玄米です。

### 4 ずんだ餅

栄養豊富な枝豆をすりつぶし、砂糖・塩・水を加えて作った緑色のあん「ずんだ」をお餅にからめたものです。暑い夏、食欲の無い時にもぴったりの郷土料理です。





トップページ



IR情報

スマートフォンにも対応！



おすすめ情報

より多くの方々に当社を理解していただけるよう、おすすめ情報やIR情報などの充実を図っておりますので、是非一度ご覧ください。



おいしい

旬の食材を使ったレシピ

★金のいぶき★

調理時間 60分  
カロリー 323kcal (1人分)

## たっぷりあさりの炊き込み深川めし

材料 (4人分)	金のいぶき…………… 2合	しょうが…………… 2片
	あさり(砂抜き済み)… 500g	味噌…………… 大さじ1
	※酒…………… 50ml	だし昆布…………… 1枚(5cm角)
	※水…………… 100ml	小ねぎ…………… お好みで
	長ねぎ…………… 1/2本	粉山椒…………… お好みで

- 金のいぶきを袋の表示に従って洗い、水に一晩漬けておく。
- あさり、※の酒、水を鍋に入れて中火にかけ、沸騰してあさりの口が空いたら火を止める。
- ②のあさりの身と汁を分け、汁に味噌を溶かしておく。
- しょうがはみじん切りにし、長ねぎは斜め3cm幅に切る。
- 炊飯器に①の金のいぶきをしっかり水気を切って入れ、③のあさりの汁を加え、炊飯器の目盛りまで水(分量外)を加えたら、しょうが、長ねぎ、だし昆布を入れて炊飯する。
- 炊き上がったらあさりのむき身を加えて3分程度待ち、ざっくり混ぜ合わせたら茶碗にもって、お好みで小ねぎや粉山椒をふる。